

# 【第24期】

## 令和4年度事業報告及び決算書

株式会社 まんでがん

（ 自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日 ）

# 令和4年度 株式会社まんできん事業報告

## 1. 概要

株式会社まんできんの事業実績としては、新型コロナウイルス感染症の影響もある中、弘法大師空海御誕生 1250 年祭記念事業と連動するなど、工夫を重ねた結果、売上額は前年比 33%、約 1,970 万円増の 7,854 万円余となった。

特に、今年度より運営を開始した「善通寺市移動式観光案内所&キッチンカー（むぎゅっとカー）」（以下、「むぎゅっとカー」という。）については、市内外において善通寺市の観光スポット及び「讃岐もち麦ダイシモチ」の魅力の情報発信に努めた。

販売促進事業については、関東から九州で開催された各食品展示会に参加し、「讃岐もち麦ダイシモチ」の販売で、新規取引先を 11 件獲得した。また、インターネット通販会社への卸販売開始に伴い、年間販売数量は前年比 36%、約 17 トン増の 66 トンとなった。

とりわけ、ふるさと納税における「讃岐もち麦ダイシモチ」の販売が好調で、定期購入者も増え、顧客満足度も高い評価を得た。

## 2. おしゃべり広場の活用

### (1) おしゃべり広場事業

#### ① 来場者数（当年度年別）

(単位：人)

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
16,466	20,458	15,613	18,661	16,779

(前年度比較:▲1,882 人)

来場者数は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、1 月及び 2 月において、500~700 人程度的大幅な減少があり、全体としても、前年度比較で 1,882 人の減少となっている。

その対策として、「mini マルシェ」を開催した。合わせて、近隣住宅へのチラシ配布を行い、事前告知に努めた。これは、プチ贅沢をコンセプトとしたマルシェを実施することにより、ニーズの掘り起こしを行うことを目的とし、効果を発揮することができた。

#### ② 観光案内事業

観光情報発信強化業務は、善通寺市からの委託事業で、県内外の観光客を対象にした観光案内業務やレンタサイクル業務などを実施し、情報発信を増やすことで顧客満足度の向上に努めた。レンタサイクル業務の利用状況は、自転車を新しくすることなどにより、利用者数は年間 943 人（前年度比較:+378 人）の実績となった。

また、今年度より「むぎゅっとカー」の運営を開始し、観光案内のチラシ配布や、特産品「讃岐もち麦ダイシモチ」及び「キウイフルーツ」を使用した料理メニューを展開し、

県内のイベント会場及びサービスエリアでPRを行った。黒板仕様の「移動式観光案内所」は、チョークで自由に書込みが行えることなどにより、子どもに好評であった。

### ③ 特産品等の販売

おしゃべり広場の売店については、近隣市町の特産品販売を増やし、アンテナショップとしての商品の充実を行った。

また、市内の生産者の朝採れ野菜や旬な果物の取扱いを増やし、季節感のある売り場づくりに努めた。

毎週、各曜日ごとに「亀井鮮魚店」や「ダイニング M」等の弁当販売を行い、リピーターの増加に努めた。

また、まちなかのにぎわい創出事業として、開催している「mini マルシェ」は、新規の出店者も回を重ねるごとに増え、それに比例する形で来場者も増加した。

### ④ 施設の貸出し

2階の会議室は、市民向けにフラワーアレンジメント教室等の貸出を行った。

また、ウッドデッキを活用し、尽誠学園高等学校の和太鼓の定期演奏会を行った。

### ⑤ おしゃべり広場感謝祭

「おしゃべり広場感謝祭」は、善通寺市役所新庁舎のグランドオープン記念式典と併せて偕行社広場で実施し、県内外のキッチンカー10台を集め、イベントマネジメントに努めた。

また、例年行っているキウイフルーツの無料配布は、クリスマスイベントにて来場者を対象に行った。

## (2) 讃岐もち麦ダイシモチ事業

### ① 丸麦

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年まで参加を見送っていた各食品展示会については、延べ11展に参加し、関東を中心とした新規取引先を11件増やした他、加工品で販路拡大を行い、売上増加に努めた。

もち麦の市場は飽和状態の厳しい状況にあるが、輸入品の高騰により国内産への切り替えが行われ、量販店にも国内産が流通し販売されるようになった。

また、インターネット通販でも品質にこだわった国内産の需要が高まり、大幅な販路拡大につながった。

### ② 加工品

「甘口」に次ぐシリーズ商品として、4月に「ご飯がいらない キーマ風もち麦カレー

中辛」を発売した。動物性由来原料を使用しないプラントベースとし、輸出品として需要があり中国向けの輸出商社へ提案することに注力した。

善通寺市強い農業実現プロジェクト事業の支援を受け、「讃岐もち麦ダイシモチ」の粉末を練りこんだ「五岳の誉 麦麺」、簡単にもち麦ご飯を食べられる「五岳の誉 レンジアップご飯」の開発に取り組んだ。

### (3) 酒類製造販売事業

本年度も「讃岐もち麦ダイシモチ」を主原料とした「本格麦焼酎 空海 わが心空の如く わが心海」の販売に注力し、県内酒屋及び県外アンテナショップで導入拡大に努めた。他、「むぎゅっとカー」を通じて各種イベントで販売に努めた。

また、「讃岐もち麦ダイシモチ」を使用した焼酎、「MAO」及び専売商品「師団一」（綾菊酒造）の販売にも努めた。

### (4) 観月の宴事業

第21回の「観月の宴」は、讃岐宮香川懸護国神社において9月9日から11日までの3日間、中秋の名月に合わせて開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

### (5) 市内学校とのまちづくり支援事業

尽誠学園高等学校普通科アビリティーコース情報デザイン専攻の生徒と、授業の一環として当売店におけるPOPの作成及び市内観光のMAP製作を行った。

### (6) その他収益事業

#### ① 善通寺市強い農業実現プロジェクト事業

##### (ア) 強い地域商社形成事業

専門家コンサルティングに依頼し、「讃岐もち麦ダイシモチ」を始めとする特産品等を活用したワークショップの開催、関東方面の製パン事業者への提案や「讃岐もち麦ダイシモチ」についての意見交換及びイベント企画の立案を行った。

##### (イ) 讃岐もち麦ダイシモチ商品開発及びデザイン制作事業

昨今の個食ニーズの高まりから幅広い購入があるレンジアップご飯の開発に取り組む、「讃岐もち麦ダイシモチ」を配合した「五岳の誉 レンジアップご飯」を発売した。

また、以前発売していた「五岳の誉 麦麺」が製造メーカーの都合により終売になったため、小豆島の製麺メーカーに協力を仰ぎ「五岳の誉」シリーズとして再販した。

② 観光スポット PR 事業 善通寺市キャラバン型観光・グルメ情報発信業務

地域おこし協力隊と連携して企画運営を行い、市内の古墳スタンプラリーを実施した。  
また、「おやつ天国」及び「ダイシモチ巡り」の事業者を中心に、高松市丸亀町グリーンにてマルシェを開催した。

③ 市関連受託事業

7月21日から8月28日までの善通寺市民プールの営業期間中、アイスクリームの販売に努めた。

また、12月31日から1月3日までの期間において、総本山善通寺への初詣に対応する駐車場管理を行った。

④ インターネット通販事業

インターネット通販（自社通販、楽天市場、yahoo ショッピング）における販売額は、前年度比50%、約440万円の増となる約880万円の売上となった。

売上増加の主な要因として、楽天市場における「讃岐もち麦ダイシモチ」や、香川県の名物「骨付鳥」の定期購入が増加したことによる。

⑤ ふるさと納税事業

ふるさとチョイス及びさとふるなどの人気サイトの雑穀米部門で、讃岐もち麦ダイシモチが常に上位に入るなど販売が好調で、販売数量は前年比7%、約1トンの増となる約22トンとなった。



# 決算報告書

(第24期)

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

株式会社 まんでがん

香川県善通寺市上吉田町2丁目1番9号

## 貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
<b>【流動資産】</b>	<b>【 50,913,363】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 8,934,045】</b>
現金及び預金	37,145,731	買掛金	4,685,814
売掛金	4,918,321	未払金	2,580,332
商品	5,627,918	預り金	115,880
貯蔵品	2,205,548	未払法人税等	295,300
未収入金	478,244	1年内支払予定リース債務	1,245,120
その他流動資産	586,601	その他流動負債	11,599
貸倒引当金	△49,000	<b>【固定負債】</b>	<b>【 12,188,340】</b>
<b>【固定資産】</b>	<b>【 5,055,082】</b>	長期借入金	10,000,000
(有形固定資産)	( 3,888,630)	長期リース債務	2,188,340
構築物	795,629		
器具備品	1	負債の部合計	21,122,385
リース資産	3,093,000		
(無形固定資産)	( 1,160,215)		
ソフトウェア	1,160,215		
(投資その他の資産)	( 6,237)		
その他投資等	12,474	<b>【株主資本】</b>	<b>【 34,846,060】</b>
貸倒引当金	△6,237	(資本金)	( 10,000,000)
		(利益剰余金)	( 24,846,060)
		その他利益剰余金	24,846,060
		繰越利益剰余金	24,846,060
		純資産の部合計	34,846,060
資産の部合計	55,968,445	負債及び純資産の部合計	55,968,445



## 損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
<b>【純 売 上 高】</b>		
事 業 収 入	56,064,720	
広 場 収 入	16,767,739	
委 託 手 数 料 収 入	5,922,689	
売 上 値 引 戻 り 高	△210,418	78,544,730
<b>【売 上 原 価】</b>		
期 首 商 品 棚 卸 高	4,881,873	
商 品 仕 入 高	34,380,366	
合 計	( 39,262,239)	
期 末 商 品 棚 卸 高	△5,627,918	33,634,321
売 上 総 利 益		( 44,910,409)
<b>【販 売 費 及 び 一 般 管 理 費】</b>		41,817,960
営 業 利 益		( 3,092,449)
<b>【営 業 外 収 益】</b>		
受 取 利 息	529	
雑 収 入	417,400	417,929
<b>【営 業 外 費 用】</b>		
雑 損 失	905	905
経 常 利 益		( 3,509,473)
<b>【特 別 利 益】</b>		
補 助 金 収 入	17,533,333	17,533,333
<b>【特 別 損 失】</b>		
事 業 支 援 費	17,657,654	17,657,654
税 引 前 当 期 純 利 益		( 3,385,152)
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		△707,700
当 期 純 利 益		( 2,677,452)

## 販売費及び一般管理費

科 目	金 額	円
広 告 宣 伝 費	145,296	
荷 造 運 賃	7,828,929	
販 売 促 進 費	319,630	
事 業 支 援 費	2,772,721	
給 料 手 当	14,923,784	
委 託 料	549,184	
法 定 福 利 費	1,659,613	
減 価 償 却 費	1,777,085	
修 繕 費	366,059	
消 耗 品 費	4,156,652	
水 道 光 熱 費	1,329,973	
旅 費 交 通 費	708,302	
支 払 手 数 料	2,835,128	
租 税 公 課	719,044	
保 険 料	341,660	
通 信 費	249,466	
諸 会 費	15,250	
車 輛 費	153,462	
顧 問 料	409,500	
支 払 地 代	280,674	
貸 倒 引 当 金 繰 入	55,237	
雑 費	221,311	
販売費及び一般管理費		( 41,817,960)

## 株主資本等変動計算書

	自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日 単位 円			
	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 利益剰余金 合計	
当期首残高	10,000,000	22,168,608	22,168,608	32,168,608
当期変動額				
当期純損益金		2,677,452	2,677,452	2,677,452
当期変動額合計		2,677,452	2,677,452	2,677,452
当期末残高	10,000,000	24,846,060	24,846,060	34,846,060

## 個 別 注 記 表

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 資産の評価基準及び評価方法  
棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産  
法人税法の規定による定率法（ただし、平成28年4月1日以後に取得した構築物  
については定額法を採用しています。）  
無形固定資産  
法人税法の規定による定額法
- (3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項  
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 3,673,070円

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行株式の数 200株

IV. リースにより使用する固定資産に関する注記

リース契約については、通常の売買契約に係る方法に準じてリース期間定額法で処理しています。

上記の通りご報告申し上げます。

令和 5 年 5 月 31 日

株式会社 まんでがん

代表取締役

角野 幸治

# 財 産 目 録

2023年3月31日現在

株式会社まんでがん

(単位：円)

資産の部			
1, 現金		1,205,613	
2, 預金	普通預金 (百十四銀行・常用)	2,059,437	
	普通預金 (百十四銀行・融資用)	10,201,198	
	普通預金 (香川銀行・広場売上用)	1,499,626	
	普通預金 (香川銀行・取引先用)	9,422,824	
	普通預金 (百十四銀行・給与、送料用)	1,143,663	
	普通預金 (高松信用金庫・輸出用)	1,000	
	郵便貯金	112,370	
	定期預金 (百十四銀行)	1,500,000	
		(高松信用金庫)	10,000,000
	3, 売掛金	売掛金	4,918,321
4, 棚卸資産	商品	5,627,918	
	貯蔵品	2,205,548	
5, 未収金	売上金クレジット決済他	44,117	
	売上金ネット通販	337,157	
	QR決済	33,291	
	ヤマト運輸決済	53,679	
	他店商品券	10,000	
6, その他流動資産		586,601	
7, 貸倒引当金		-49,000	
8, 構築物		795,629	
9, リース資産		3,093,000	
10, 工具、器具及び備品		1	
11, 無形固定資産		1,160,215	
12, その他投資等		12,474	
13, 無形固定資産		-6,237	
	資産合計	55,968,445	
負債の部			
1, 買掛金		4,685,814	
2, 未払金	3月分給与手当	1,175,980	
	3月分産直売上	472,115	
	3月分その他経費	932,237	
3, 未払法人税等		295,300	
4, 未払消費税		-	
5, 預り金		115,880	
6, 1年内支払リース債務		1,245,120	
7, その他流動負債		11,599	
8, 長期リース債務		2,188,340	
9, 長期借入金		10,000,000	
	負債合計	21,122,385	
差引正味財産		34,846,060	

## 利 益 処 分

自2022年4月1日 至2023年3月31日

株式会社まんでがん

(単位：円)

1, 当期末処分利益		34,846,060
	1) 前期繰越金	32,168,608
	2) 当期利益	2,677,452
2, 次期繰越利益剰余金		34,846,060

# 監査報告

令和4年度 株式会社まんでがん の決算について、証憑書類、帳簿等を監査の結果、適正かつ正確であることを認めます。

令和5年 5月29日

監査役 蓮本尚子 

監査役 小野貴史 